

研究課題名	食道 ESD におけるオーバーチューブの使用による誤嚥性肺炎の予防効果：傾向スコアマッチング法による検討
研究の意義・目的	早期消化管癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は、根治性の高い、低侵襲な治療として広く普及しています。上部消化管 ESD、特に表在型食道癌に対する ESD では術中に水分が口腔内に逆流することも多く、周術期に誤嚥性肺炎が発生することがあります。また、食道 ESD の術中にオーバーチューブ（口から食道の入口までの管）を使用することがありますが、誤嚥性肺炎の予防効果についての検討はほとんどありません。食道 ESD におけるオーバーチューブの使用による誤嚥性肺炎の予防効果について明らかにすることで、今後の内視鏡治療の発展に貢献できるものと考えます。
研究を行う期間	承認後～2025年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2015年1月～2019年7月の間に、大阪市立大学医学部附属病院で表在型食道癌に対して ESD を施行された患者さんが対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、基礎疾患、内服歴、喫煙歴、内視鏡所見、内視鏡手術所見】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 病院講師 大南 雅揮
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	研究責任者 大南 雅揮 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 06-6645-3811 FAX 06-6645-3813 E-mail ominami@med.osaka-cu.ac.jp